

【調査概要】

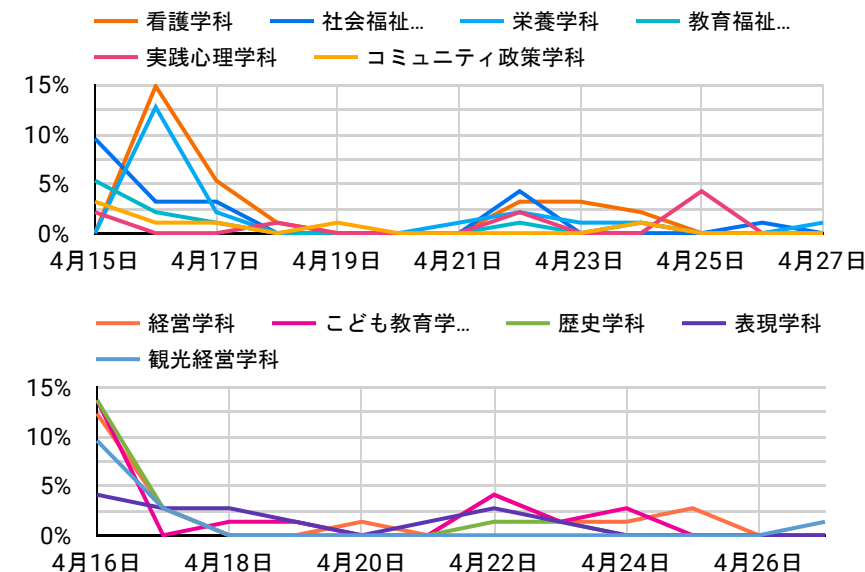
- ◆卒業1年後調査の対象者
淑徳大学卒業生（2022年度に卒業し、1年経過した者）
- ◆調査実施時期
4月15日（月）～4月27日（土）
- ◆調査方法
WEB（Googleフォーム）
メールにて回答依頼を4月15日及び4月22日に実施
- ◆対象者及び回答率
対象者1,072名、メール不達数376名
回答対象者696名、回答者167名、
回答率24.0%

【回答者数】

Q1 卒業した学部...	Record Count
1. 看護学科	28
2. 社会福祉学科	20
3. 栄養学科	20
4. 経営学科	19
5. こども教育学科	18
6. 歴史学科	14
7. 表現学科	12
総計	167

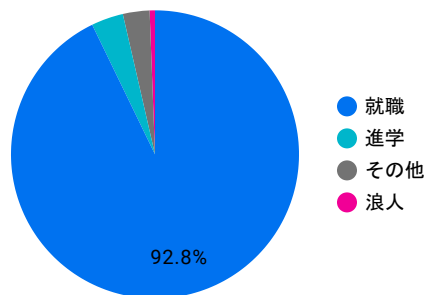
1 - 11 / 11 < >

【回答日】



【あなたの現在の状況について】

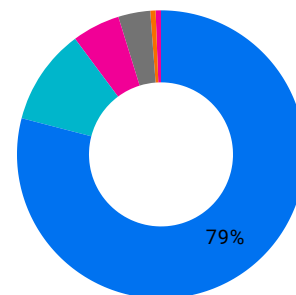
◆卒業後の進路について



進路その他	R...
1. 転職活動	1
2. 就職後、退職し専業主婦	1
3. その他	1
4. 無職	2
5. null	1...

1 - 5 / 5 < >

◆現在の就業状況

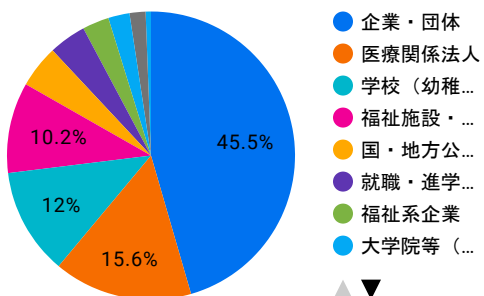


- 卒業後初めての就職先で継続して働い...
- 退職して別のところで働...
- 退職し、現在は働いてい...
- その他
- 退職予定
- 浪人

就業状況その他	R...
1. 休職している	1
2. 修士2年	1
3. 退職手続き中	1
4. 就職した会社で継続して働いており...	1
5. 大学院2年目	1

1 - 7 / 7 < >

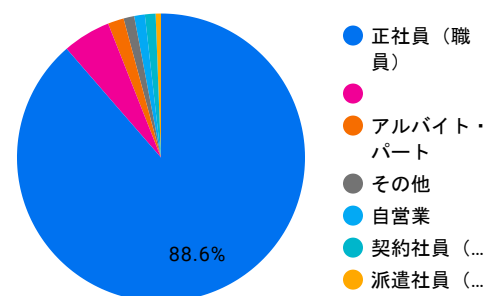
◆現在働いている就職先



就職先その他	R...
1. 退職	1
2. 物流倉庫	1
3. 退職前は学童職員	1
4. null	1...

1 - 4 / 4 < >

◆雇用形態

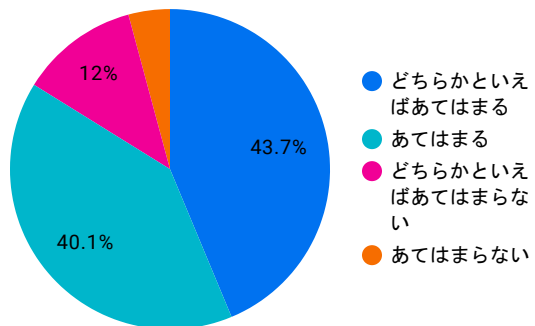


4) 雇用形態について（その他回...	R...
1. 地域限定社員	1
2. 非常勤講師	1
3. null	1...

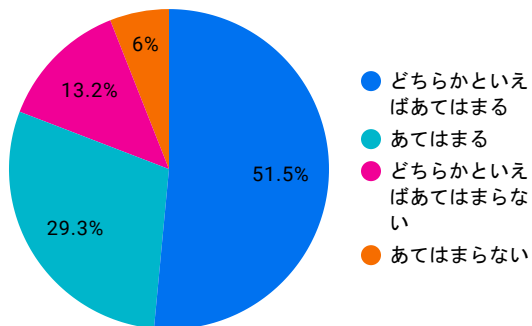
1 - 3 / 3 < >

【学生生活について】

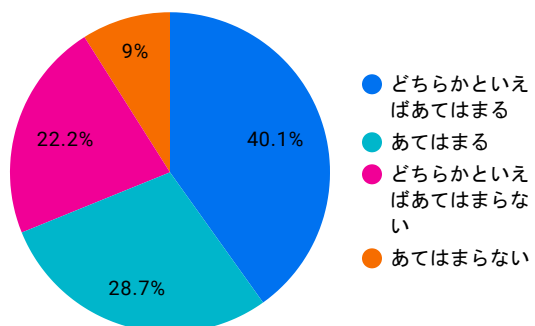
◆大学生生活は充実していた



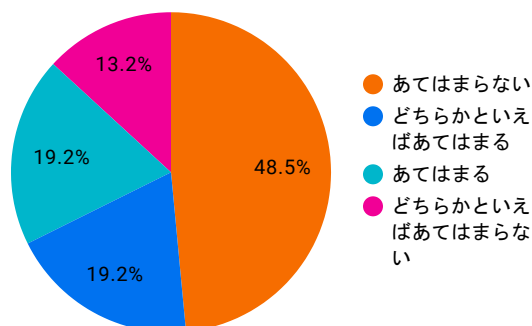
◆大学の授業に熱心に取り組んでいた



◆大学の成績は良かったほうだと思う



◆部活やサークルに熱心に取り組んでいたほうだ



【学生生活のクロス表】

		大学生生活充実 / Record Count			
授業熱心	どちらかといえばあてはまる	あてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	
どちらかといえばあてはまる	28.14%	18.56%	4.19%	0.6%	
あてはまる	7.78%	19.16%	1.8%	0.6%	
どちらかといえばあてはまらない	7.19%	1.8%	4.19%	-	
あてはまらない	0.6%	0.6%	1.8%	2.99%	

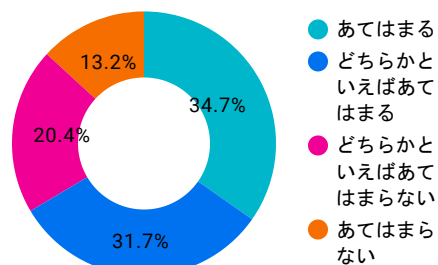
		大学生生活充実 / Record Count			
成績が良い	どちらかといえばあてはまる	あてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	
どちらかといえばあてはまる	23.35%	15.57%	1.2%	-	
あてはまる	8.38%	14.37%	4.79%	1.2%	
どちらかといえばあてはまらない	8.98%	7.78%	4.79%	0.6%	
あてはまらない	2.99%	2.4%	1.2%	2.4%	

		大学生生活充実 / Record Count			
部活等熱心	どちらかといえばあてはまる	あてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	
あてはまらない	25.15%	11.98%	7.78%	3.59%	
あてはまる	4.79%	12.57%	1.2%	0.6%	
どちらかといえばあてはまる	8.38%	8.98%	1.8%	-	
どちらかといえばあてはまらない	5.39%	6.59%	1.2%	-	

【仕事で役立っている大学の学びや経験（複数回答）回答数】

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|
| ◆大学で学んだ知識や理論（回答数）
90 | ◆大学で学んだ知識や理論（回答率）
53.89% |
| ◆演習での学びや経験（回答数）
44 | ◆演習での学びや経験（回答率）
26.35% |
| ◆実習での学びや経験（回答数）
79 | ◆実習での学びや経験（回答率）
47.31% |
| ◆正課外での学びや経験（回答数）
20 | ◆正課外での学びや経験（回答率）
11.98% |
| ◆大学での友人・仲間の繋がり（回答数）
83 | ◆大学での友人・仲間の繋がり（回答率）
49.70% |
| ◆大学での教員や職員との繋がり（回答数）
44 | ◆大学での教員や職員との繋がり（回答率）
26.35% |
| ◆分からないことを調べる方法（回答数）
58 | ◆分からないことを調べる方法（回答率）
34.73% |

【大学で学び直したいことはあるか】



学び直したいこと自由記述		Reco...
1.	福祉について全般的に	1
2.	子供との関わり方	1
3.	障害福祉制度について	1
4.	自分の専攻科目	1
5.	障害者支援	1
6.	保育に関する専門的な知識	1
7.	英語などの語学力、福祉政策の内容、障害者の種類と支援方法、実際の現場での実習（特に障害分野がなかった）、人間関係の構築、教授との連絡の取り方	1
8.	西洋史、東洋史	1
9.	経済学を必修でしか学ばなかったため、必修以外の	1

本学卒業生の就職先への意見聴取（インタビュー）の実施について

本調査は、本学学生の卒業後就職状況等から、教育の成果や効果を検証することを目的として、実際に本学卒業生が就職している企業に対してインタビューを実施し、その結果を報告するものである。質問項目及び結果を、ご協力いただいた企業ごとに以下記載する。なお、この結果は、企業名を伏せた上で年度内に大学ホームページ内に掲載予定である。

1. インタビューの実施について

(1) インタビュー概要

本調査は、卒業生が就職した就職先に対し、2024年9月にインタビューを行った。

(2) インタビュー方法

インタビューは、①企業が求める人材と本学の学修成果（採用活動における学修成果の活用）について、②本学卒業生の勤務態度や能力について、③社会人の学びなおしのための学修ニーズについて、④淑徳大学への要望について、半構造化インタビューを対面で1時間程度実施した。

(3) インタビュー実施先

インタビュー実施先はキャリア教育・支援センターによる機縁法により4団体に対して実施した。インタビュー先は下記である。なお、インタビューは役職まで記載し、いずれの団体のインタビューは採用担当者が参加している。

	キャンパス	業界	実施日	時間	方法	インタビュー
A	千葉第二	給食事業等	9月5日	9:30	対面	採用担当部門課長、主任
B	東京	福祉（企業）	9月9日	10:00	対面	事業部チーフ2名※採用担当1名含（本学卒業生）
C	埼玉	販売	9月9日	15:00	対面	店長、社員（本学卒業生）、総務部採用担当
D	千葉	福祉（社会福祉法人）	9月12日	10:00	対面	総務課課長、経営企画室1名（本学卒業生）

2. インタビューの結果について

(1) 貴社が求める人材と本学の学修成果に対するご意見

①貴社では採用活動の時に、成績（GPA など）や学修成果（能力や知識など）を活用していますか？

- ・成績の活用は、昔はあったが、ここ2～3年ぐらいは成績については評価にいない。理由として採用が厳しくなったことがある。(A)

- ・人物像を評価している。(A)

- ・数理・データサイエンス・AI教育プログラムのオープンバッジについては、学生が自分でどのような捉え方をしているのか、達成しているのかといったことを面接や座談会で聞けるといいと思う。(A)

- ・成績を強く見ているわけではなく、人柄やどういうふうに職を通して学んでいきたいか、チャレンジしていきたいかといったことを見ている。(B)
- ・学生の進級状況は見ている (B)
- ・成績は全く関係していなく、会社の筆記試験で見ている。(B)
- ・成績などは研修に向けて使うことがある。(B)
- ・成績証明書は求めている。成績と仕事がリンクしていないため (C)
- ・筆記試験も点数で順位づけるのではなく、仕事上文書や記録を作るといったところを確認している。(D)

②学修成果はどのような形での提示が企業にとって最も有用だと思いますか？(例：成績、ポートフォリオ、プロジェクトの実績等)

- ・ポートフォリオなどがあると学生の成果が見えやすい。また学生が自身のことを言いがやすい。学生が面接などでプレゼン等に使いやすいのではないか。(A)
- ・ポートフォリオは学生本人が最終選考や一次面接などで自分の言葉でPR するのに使えるのではないか。(B)
- ・個人を重視しているので、学修成果や大学で判断していない。(C)
- ・4年間の授業の参加態度などは見ている。(C)
- ・大学によって成績証明書が違うので比較しにくい。(D)

③オンラインでのデジタル証明書やオープンバッジの活用についてどう思いますか？

- ・バッジは学生の自己表現に活用するといいいのではないか。(A)
- ・オンラインの証明書やオープンバッジなどは活用するに至っていない。また DX のものを求めると応募者が減ってしまうというリスクが考えられる。(B)
- ・証明書は電子データだとありがたい。また印刷が可能であれば問題ない (D)

(2) 本学卒業生の勤務態度、能力等について

①本学卒業生の勤務態度や能力等はいかがでしょう？

- ・大学、短大、専門卒でも下積み作業がある。働く人が目先だけ、手元だけを見て仕事をしているといやになってしまう、我慢できない、辛い、しんどいというのが結論になってしまう。(A)
- ・採用は社会福祉学科の学生だけではない。卒業生はみな、頑張っており、現場のサービスの責任者を担っている物もいる。(B)
- ・データからお客様を見てサービスをしていくことが必要、事例研究や報告書はパワーポイントを使うため、図解思考などがあるといい。(B)
- ・仕事はしっかりやっている。目配りなどは出来ている、働く力はある。(C)
- ・他大学の学生と比べて真面目と感じる。(D)
- ・(学生全体として) 積極性や主体性があるとよいと感じる。(D)
- ・方針として運営していかないといけないので、管理職とか経営職とか目指してくれる人が必要で、淑徳大学の卒業生から出てきてもらいたいなと思っている。(D)

(3) 社会人の学び直しのための学修ニーズについて

①現在の業務で重要視されているスキルや知識は何ですか？

- ・指導者や管理していく人が必要、知識経験が必要で、早めに学びがあるとよい (A)
- ・福祉に関する知識は現場で学びながらやっている。またデータリテラシーやヒューマンスキルを高めるために付随するものを学んでいる。(B)
- ・重要なのはコミュニケーション。(C)
- ・チームや協調性、地域との共生、権利擁護や倫理。(D)

②社員が自己研鑽をする際に支援などをされていますか？

- ・社内で研修や資格取得のためのコースはある。(A)
- ・介護福祉士やケアマネージャーなどの対策講座を設けている。(B)
- ・通信教育の支援をするものはある(簿記やマネジメントなど)。(C)
- ・自己研鑽制度などは設けていない。個人で社会福祉士や精神保健福祉士などを目指す人はいる。また講座受講のためにシフトの調整などをすることはある。(D)

③社員が学修や研修を受ける際に直面する課題は何ですか？

- ・研修にとれる時間を作ることが難しく、研修を実施しても仕事を優先で参加しない人もいる。(A)
- ・社内研修だとモチベーションが高い人、低い人がいる。(B)
- ・知識は知識であり、そこから現場に置き換える、活用することが得意な人、不得意な人がいる。(B)
- ・社会福祉施設でのAIの活用は課題だが、設備投資などの投資が必要。

④大学で社会人向けのリスキリング教育を実施するとしたら、どのような教育プログラムが有益だと思いますか？

- ・飲食、医療福祉などの業界の動き、業界動向などがわかるもの、オンラインが望ましい。(A)
- ・課題解決力、図式化、質問力、ロジカルシンキングなど。(B)
- ・販売しているものは額が大きいので、経済の仕組みやFPなどがあるといいのではないか。(C)
- ・社会福祉の経営の講座などがあるといいと思う。特に社会福祉方針の経営的なものに特化したものがあればいいと思う。(D)
- ・プログラムの実施は集合型とオンデマンドの併用、特にコミュニケーションやモチベーションを上げるような感じのグループワークがあるとよい(特に横の繋がりがあまりないため)。(D)

(4) 今後、淑徳大学に望むこと(教育及びキャリア支援等)

- ①淑徳大学の教育やキャリア支援等への要望がありましたらお教えてください。

- ・業界の特質性を理解いただいたうえで、長くキャリアアップに取り組んでくれる人を多く採用したいと考えている。一般的な会社員とは異なり、勤務時間や職務も違うのでそこを理解していただきたいと思う。(A)
- ・インターンシップはいつから開始していいか。(A) ※当日キャリア教育・支援センターから回答済
- ・介護福祉の醍醐味というのを伝えていきたい。(B)
- ・社会福祉の合同企業説明会を、民間企業にも開いていただきたい。(B)
- ・学生にはいろんな経験をさせて欲しい。(C)
- ・社会人としてわからないことは恥ずかしくないで聞いてくれる、考える力を養ってください。(C)
- ・最近は大学のキャリア部門と学生の関係が希薄になっているように感じている。(D)
- ・ナビサイトを活用する学生がメインになってきて、ナビサイトだとエントリー待ちになっているので、こちらからアプローチできていない。(D)

以上